

平成 28 年度静岡県原子力防災訓練の実施結果

1 平成 28 年度静岡県原子力防災訓練の概要

県と原子力災害対策重点区域を持つ 11 市町が主催し、静岡県地域防災計画(原子力災害対策の巻)、浜岡地域原子力災害広域避難計画等に基づく総合的な訓練を、初日の図上訓練と 2 日目の実動訓練の二日間にわたりおこなった。

図上訓練では、主に平成 28 年 3 月に竣工した「原子力防災センター」を会場とし、緊急時モニタリングの結果から防護措置(避難・一時移転等)の実施方針を決定する訓練等を実施した。

実動訓練では、避難退域時検査場所の設置・運営訓練や在宅要配慮者の屋内退避訓練等を実施した。

2 図上訓練(原子力防災センター等運営訓練)

(1) 日 程 平成 29 年 2 月 9 日(木) 9 時 30 分から 15 時 30 分まで

(2) 会 場 原子力防災センター、県危機管理センター、各市町庁舎等

(3) 参加機関

県危機管理部・健康福祉部・試験研究機関、県警本部、県内市町、広域避難先都県、国、中部電力等約 270 名の防災要員が参加。

(4) 訓練想定

浜岡原子力発電所 4 号機で過酷事故が発生し、外部に放射性物質が放出されたことを想定し訓練を実施。

(5) 訓練内容(詳細は別紙訓練項目及び内容を参照)

- ① オフサイトセンター(OFC)運営訓練
- ② 緊急時モニタリングセンター(EMC)運営訓練
- ③ 緊急時モニタリング結果に基づく防護措置の実施方針決定訓練
- ④ 防護措置等の情報伝達訓練
 - ・ 「原子力防災ポータル」による住民への情報伝達訓練
 - ・ 安定ヨウ素剤の備蓄状況の確認訓練
 - ・ 避難先都県との受入可否の確認訓練

3 実動訓練

(1) 日 程 平成 29 年 2 月 10 日 (金) 8 時 30 分から 12 時 00 分まで

(2) 会 場

新東名高速道路浜松SA下り線、谷稲葉うぐいすパーキングエリア、御前崎市白羽公民館、菊川市小笠南地区コミュニティセンター、市立御前崎総合病院、県立総合病院、浜松医科大学附属病院、御前崎市消防本部、(国)150号千浜南交差点 等

(3) 参加機関等 31 機関約 650 人 (うち参加住民約 300 人)

自衛隊、県警察本部、関係消防本部、市立御前崎総合病院、県立総合病院、浜松医科大学附属病院、灯光園、東海清風園、(公社)県放射線技師会、中部電力(株) 等

(3) 訓練想定

浜岡原子力発電所4号機で過酷事故が発生し、外部に放射性物質が放出されたことを想定し訓練を実施。

(4) 訓練内容(詳細は別紙訓練項目及び内容を参照)

①住民避難訓練、②住民への情報伝達訓練、③避難退域時検査場所運営訓練、④在宅要配慮者屋内退避訓練、⑤原子力災害医療訓練、⑥消防隊員の原子力防災資機材取扱訓練、⑦放射線防護対策設備稼働訓練、⑧警戒区域設定訓練、⑨避難誘導訓練

(別紙) 訓練項目及び内容

訓練項目	訓練内容	訓練日	形式	参加機関
1. 原子力防災センター等運営訓練				
防護措置決定訓練	1-1. 県及び関係市町本部運営訓練 ① モニタリング情報の把握 ② 国・EMC・OFC・県・関係市町との情報共有 ③ テレビ会議等による一時移転等の範囲(案)の協議 ④ 周辺県連絡員へのモニタリング情報の伝達 ⑤ 広域避難受入先(県内、関係都県)との受入可否確認の情報受伝達 ⑥ 安定ヨウ素剤の配布に関する調整	2月9日(木)	図上	◎県危機管理部、健康福祉部、賀茂地域振興局、東部危機管理局、中部危機管理局、西部危機管理局、関係11市町・県内市町、広域避難先都県
	1-2. オフサイトセンター運営訓練 ① オフサイトセンター機能班の運営 ② EMC、県原子力災对本部との連携 ③ 国から示されたOILに基づく一時移転等の範囲の案について、県・関係市町と協議、取り纏め	2月9日(木)	図上	◎浜岡原子力規制事務所 ・国関係機関、県、関係11市町、防災関係機関
	1-3. 原子力防災ポータル運用訓練 ① 原子力防災ポータルでの情報発信	2月9日(木)	図上	◎県危機管理部
緊急時モニタリング訓練	1-4. EMCのOIL対応訓練 ① 緊急時モニタリング実施計画に基づく測定の指示及び測定結果の妥当性確認 ② 緊急時モニタリングの測定結果及び評価結果の情報共有(ERC、OFC及び関係市町との連携) ③ 緊急時モニタリング実施計画の改訂案の検討	2月9日(木)	図上	◎環境放射線監視センター ・原子力規制庁、県試験研究機関、関係11市町、(公財)原子力安全技術センター、(国研)日本原子力研究開発機構、中部電力
	1-5. 関係市町簡易型電子線量計設置訓練 ① 緊急時モニタリングにおける空間放射線量率測定候補地点に簡易型電子線量計を設置・測定	2月9日(木)	実動	◎関係11市町、中部電力

訓練項目	訓練内容	訓練日	形式	参加機関
2. 住民避難等訓練				
住民避難訓練	2-1. 住民情報伝達訓練 ① 住民への広報(同報無線、メール配信、広報車など)	2月10日(金)	実動	◎県危機管理部、袋井市、吉田町、島田市
	2-2. 住民避難訓練 ① 一時集合場所での受付事務 ② UPZ市町については、安定ヨウ素剤(模擬を用意)の住民への配布 ③ バスの配車、住民のバス乗車の誘導 ④ バス及び公用車による移動(避難退域時検査場所まで) ⑤ 避難退域時検査場所運営訓練への参加	2月10日(金)	実動	◎御前崎市、掛川市、菊川市、袋井市、磐田市、吉田町、島田市 ・上記市町住民参加
	2-3. 避難退域時検査場所運営訓練 ① 避難退域時検査場所の開設・運営 ② 車両のスクリーニング・簡易除染 ③ 住民のスクリーニング・簡易除染 ④ 40,000cpmを下回らない傷病被ばく者の2次被ばく医療機関への搬送(浜松SAのみ実施) ⑤ 証明書の発行	2月10日(金)	実動	◎県危機管理部、中部・西部危機管理局、健康福祉部、中部・西部健康福祉センター、御前崎市、掛川市、菊川市、袋井市、磐田市、吉田町、島田市(前記市町住民参加)、牧之原市、焼津市、藤枝市、自衛隊、中日本高速道路㈱、県放射線技師会、中部電力㈱、静岡・浜松赤十字病院、浜松医科大学附属病院
在宅要配慮者屋内退避訓練	2-4. 在宅配慮者屋内退避訓練 ① 放射線防護対策設備の稼働 ② 公民館・コミュニティセンターへの周辺住民(在宅の要配慮者)誘導 ③ 屋内退避に必要な資機材、食料等の確認 ④ 要配慮者の避難に必要な搬送体制の確保手順の確認	2月10日(金)	実動	◎御前崎市、菊川市、自衛隊、県危機管理部、

訓練項目	訓練内容	訓練日	形式	参加機関
3. 原子力災害医療訓練	① 御前崎市消防本部による緊急搬送 ② 市立御前崎総合病院での受入(外科的処置) ③ 県立総合病院へオレンジアローによるヘリ搬送 ④ ホールボディカウンターによる内部被ばくの測定 ⑤ 福島県立医科大学(原子力災害医療・総合支援センター)との連携確認	2月10日(金)	実動	◎県健康福祉部、県危機管理部、県消防防災航空隊、市立御前崎総合病院、県立総合病院、御前崎市消防本部、中部電力(株)、福島県立医科大学
4. 消防隊員の原子力防災資機材取扱訓練	① 原子力防災資機材の取扱訓練 ② 除染シャワーを使用し、汚染水をできる限り低減する効果的な除染方法を検証	2月10日(金)	実動	◎御前崎市消防本部、静岡市消防局牧之原消防署・吉田消防署、菊川市消防本部、掛川市消防本部
5. 放射線防護対策設備稼働訓練	5-1. PAZ内病院 放射線防護対策設備稼働訓練 ① 放射線防護対策設備の稼働 ② 屋内退避に必要な資機材、食料等の確認	2月10日(金)	実動	◎県危機管理部、御前崎市、市立御前崎総合病院
	5-2. PAZ内社会福祉施設放射線防護対策設備稼働訓練(特別養護老人ホーム) ① 放射線防護対策設備の稼働 ② 屋内退避に必要な資機材、食料等の確認	2月10日(金)	実動	◎県危機管理部、御前崎市、東海清風園、灯光園
	5-3. 災害対策拠点施設 放射線防護対策設備稼働訓練(消防署) ① 放射線防護対策設備の稼働 ② 屋内退避に必要な資機材の確認	2月10日(金)	実動	◎県危機管理部、牧之原市、静岡市消防局牧之原消防署
6. 警戒区域設定訓練	① 封鎖する道路上に立入制限看板の設置 ② 警戒区域への立入制限に係る対応の確認	2月10日(金)	実動	◎御前崎市、掛川市、県警察本部、掛川警察署、県危機管理部
7. 避難誘導訓練	① 避難退域時検査場所において避難バス等の誘導 ② 避難退域時検査場所において混乱防止対策の実施	2月10日(金)	実動	◎県警察本部、関係警察署